

### 3 基本理念及び整備目標

#### 3-1 基本理念

6ページの平成29年及び同30年観光入込客数の表にあるとおり、天平の花まつりなどのイベント開催時にしもつけ風土記の丘資料館の入館者数が増えており、天平の丘公園への集客を図ることで、史跡地や施設へより多くの人の流れが望めます。

同公園の再整備にあたっては、造成当初の目的である平地林保全、歴史的な地域特性を活かした公園づくりの理念を継承しつつ、「下野国分尼寺跡及び周辺整備基本構想」の内容を参考とし、新しい価値観・感性に対応した仕掛けの追加が必要となります。

これらを踏まえ、以下の基本理念のもとハード再整備に取り組みます。

なお、ソフト面の整備については、平成31年4月の改正文化財保護法に基づき策定する「下野市文化財保存活用地域計画」とも整合を図りながら取り組みます。

- ・ 四季をとおして利用者が訪れる公園への再生
- ・ 天平の丘公園利用者及び史跡地見学者が相互に行き来できる公園づくり

#### 3-2 整備目標

基本理念を踏まえ、整備目標と整備内容を以下のように定めます。

なお、現時点での整備内容は提案案件とし、駐車場など老朽化している施設は優先的に再整備を行います。その他の案件の実施の是非や優先順位は今後、基本計画、実施計画を策定する際に、市民アンケート等を通して整理します。

##### 整備目標① 四季折々の花を通して、自然に親しめる公園づくり

###### 【整備内容】

- ◆桜の樹勢回復及び更新
- ◆平地林更新のための伐採
- ◆桜以外の花木・草花の設置
- ◆淡墨桜・滝桜・山高神代桜の子孫樹の育成
- ◆分散している十月桜の集約
- ◆ヤマザクラ、モミジを中心とした花木・草花の設置
- ◆万葉植物園の再生（公園全体を万葉植物園とする対応など）

## 整備目標② にぎわいと活気があふれる公園づくり

### 【整備内容】

- ◆売店や飲食店などの設置
- ◆遊具やストライダーコースなど子どもが遊べるスペースの整備
- ◆桜を上から眺めることができる展望塔の設置
- ◆健康器具の設置（鉄棒・けんすい柱、うんてい、背伸ばしベンチなど）
- ◆イベント開催時に使用できる電気配線等のインフラ整備
- ◆水と親しめる施設の設置

## 整備目標③ 来訪者に優しく、史跡地を周遊しやすい環境づくり

### 【整備内容】

- ◆尼寺グラウンドを含めた一体的な駐車場の整備
- ◆ワンボックスカーが余裕をもって駐車できるスペースの確保
- ◆駐車場内のエリア看板の設置
- ◆花広場、国分寺・国分尼寺跡、夜明け前エリア等への案内看板の設置
- ◆西駐車場から下野国分寺跡への新ルート設定
- ◆おもいやり駐車場の増設
- ◆市道2-22号線の歩道・舗装の整備
- ◆花広場トイレのユニバーサルデザイン化
- ◆花広場エリアから夜明け前エリアへの新ルート整備
- ◆各エリア間及び各エリア内のバリアフリー化

## 整備目標④ 公園を効率的に管理できる体制づくり

### 【整備内容】

- ◆公園管理の拠点となる施設の建設
- ◆日照及び安全性（歩きやすさ）確保のための伐採
- ◆県有地及び借用民有地の取得

## 整備目標⑤ 地域連携、地域活性化につながる公園づくり

### 【整備内容】

- ◆平美林会などの市民団体との官民協働
- ◆市内の農業生産者と連携
- ◆近隣市町や奈良県など東の飛鳥プロジェクトに関連する自治体との広域連携